

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日赤新労

平成16年  
1月1日 発行  
第183号

発行所

日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F  
TEL (03) 3433-3028  
FAX (03) 3432-4560  
Eメール sinrou@nyc.odn.ne.jp  
ホームページ http://www.shinro.org/  
発行責任者 小宅 政 恵



—平成15年度—

## 第3回中央委員会開催 運動方針案、給与要綱第35など審議

十二月十四日、十五日の両日、古都・京都の御所前門前に建つ「京都ガーデンパレス」において、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等八五名の参加のもと、第三回中央委員会が開催された。

会議では、議題である平成十六年度運動方針案や要求書案、給与要綱第三五の改正等について慎重な審議が行われた。

まず開会のことばの後、資格審査・成立確認(出席中央委員二六名、委任状一名)が行われ、議長に小寺 慎氏(鳥取日赤)、副議長に牟田孝司氏(今津日赤)、書記に黒木豊久氏(名二日赤)が選出された。

審議に先立ち、濱崎中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。

「本年度の基本賃金の引上げ交渉を振り返ってみると、本社より具体的な回答のない中、五月二十二日に人事院勧告に準拠した協定を迫られるという、我々にとっては大変厳しい状況下で始まった。

十二月十四日、十五日の両日、古都・京都の御所前門前に建つ「京都ガーデンパレス」において、全国加盟単組より中央委員及びオブザーバー等八五名の参加のもと、第三回中央委員会が開催された。

会議では、議題である平成十六年度運動方針案や要求書案、給与要綱第三五の改正等について慎重な審議が行われた。

また、定昇部分を加えること〇・八八%の引上げとなし、何とかベースダウンを避けることができたのは、ひとえに中央委員各位のご支援とご協力の賜と、深く感謝する次第である。

今中央委員会は、来年度の運動方針案や要求書案等を提案しているが、本社第三五の改正についても論点を整理を行い、具体的な協定に入るよう慎重に審議したい。

- ### ■報告事項
- 一、各部報告
  - 【組織部】
    - 京都支部及び福祉関係施設と懇談会を開催
    - 単組内部強化
    - 【教宣部】
      - 初心者研修会の開催
      - 単組学習会への講師派遣
      - 年末手当交渉のための宣伝パンフレットの作成
    - 【調査部】
      - 平成十五年調査結果の集計・発送
      - 年末一時金等の調査実施
      - 一般経過報告
      - ベア妥結に至る経過説明を中心とした本部活動の報告が行われた。

### ■審議事項

- 一、平成十六年度運動方針案について
- 二、予備案について
- 三、原案とおり、全会一致で承認された。その他、中央執行委員等から現場の改善の中で完全失業率は高い水準を維持しており、雇用情勢は磐石なものではなく、労働者の生活不安と雇用不安はますます増大し、必死の生活防衛を余儀なくされている状況にあります。
- 四、役員監査委員長の明石四郎氏(岡山日赤)より、中央委員会に先立って開催された役員監査委員会の審議報告が行われた。寄せられた推薦状等を参考に、大会に向けて論衡に努力する考えが示され、平成十六年一月七日に再度監査委員会を開催することとなった。
- 五、給与要綱第三五の改正について
- 六、大会運営について
- 七、その他

### 東京都支部職組で勉強会を開催

—子供の家なども参加—

去る十月十日(金)、東京都支部職員組合で、児童養護施設「子供の家」と若手乳児院も参加して、勉強会が開催された。仕事を終えてからの遅い時間での開催にもかかわらず多数の組合員の皆さんが参加され、前半は本部役員から今年度ベアや定年制等についての説明、後半のフリーディスカッションでは、現在単組で抱えている諸問題等が話し合われた。



## 年頭にあたって

中央執行委員長 濱崎 健 藏

謹んで新年のお慶びを申し上げます。すがすがしい新年を迎え、組合員各位におかれましては新たな想いを胸にお過ごしのことと思います。

昨年、新労の長年の要求でありました定年制度と定年前早期退職制度及び再雇用制度、並びに初任給の統一が四月一日から実施されました。これも皆様の力強いご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

一方、基本賃金の改定につきましては、連年の俸給の引き下げとなり、我々にとって苦渋の選択をせざるを得なかった中で、諸手当の改善及び昇格基準の見直し等を勝ち取ることができました。

また、定昇部分を加えること〇・八八%の引上げとなり、何とかベースダウンを避けることができたのは、ひとえに中央委員各位のご支援とご協力の賜と、深く感謝する次第である。

今中央委員会は、来年度の運動方針案や要求書案等を提案しているが、本社第三五の改正についても論点を整理を行い、具体的な協定に入るよう慎重に審議したい。

日本赤十字社各施設におきましても事業運営は年々厳しさを増してきており、待たなしの長期展望に立った生き残りをかけた経営戦略の実践とともに、職員一丸となった取り組みが必須であります。労働組合対経営側という旧来の対峙から、新労のモットーとする労働協調を具体的に事業運営の中で実行するときは、権にもかかわらず多数の組合員の皆さんが参加され、前半は本部役員から今年度ベアや定年制等についての説明、後半のフリーディスカッションでは、現在単組で抱えている諸問題等が話し合われた。

去る十月十日(金)、東京都支部職員組合で、児童養護施設「子供の家」と若手乳児院も参加して、勉強会が開催された。仕事を終えてからの遅い時間での開催にもかかわらず多数の組合員の皆さんが参加され、前半は本部役員から今年度ベアや定年制等についての説明、後半のフリーディスカッションでは、現在単組で抱えている諸問題等が話し合われた。

去る十月十日(金)、東京都支部職員組合で、児童養護施設「子供の家」と若手乳児院も参加して、勉強会が開催された。仕事を終えてからの遅い時間での開催にもかかわらず多数の組合員の皆さんが参加され、前半は本部役員から今年度ベアや定年制等についての説明、後半のフリーディスカッションでは、現在単組で抱えている諸問題等が話し合われた。

—第43回—  
定期全国大会案内  
平成16年2月22日(日)～24日(火)  
「伊東ホテル聚楽」0557-37-3161  
〒414-0055 静岡県伊東市岡 281

# 真心

新しい年を迎え  
皆様のご健康と  
ご多幸を心より  
お祈り申し上げます  
二〇〇四年 元旦



— 執行部 一同 —

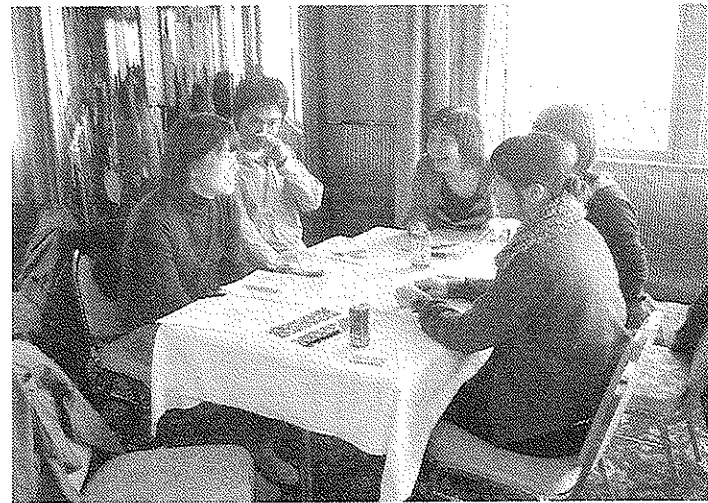
## 北から 南から

### 初心者研修会に 参加して

三原赤十字病院 藤村 真由美

今回の研修会を通して、  
三原赤十字病院や他施設の  
組合の働きを知ることが  
できました。

有給休暇や特別休暇など  
本来取れるべきものがきち  
んと取れたり取れていなか  
ったりするなど、働く環境  
によって差があることに問  
題を感じます。実際に取れ  
る休暇があっても、その存  
在すら知らされていないと  
きは、知らずに終わってし  
まうことになるので、その  
ようなことのないように自  
分でも情報を取り入れて、  
その仕組みを理解していな  
ければならないと思いまし  
た。



今回の研修会を通して、  
の中にも取り入れて活かし  
ている西川滋祐さん(三原

析結果となり、自分を見つ

「新しい自分発見」とい  
う講演では、エゴグラムを  
使って自分の性格を表しま  
したが、なかなか厳しい分  
析結果となり、自分を見つ

事ではなく、大きなエネル  
ギーを感じ、私も何か趣味  
を持ちたいと思いました。

め、また他人を見直す良  
きっかけになったと思いま  
す。また、グループで交換  
したお互いの第一印象を書  
いた紙は、普段はあまり気  
づかない自分の姿を知るこ  
とができたと思います。い  
きなり変わることはできま  
せんが、少しずつ良い方向  
に変えて行きたいし、今の  
ままで良いことは、それを  
無くさないよう保ち続けて  
行きたいとも思いました。

今回、一年目のみんなと  
久しぶりにゆっくりと話す  
ことができました。勤務が  
バラバラになり、みんなで  
集まる時間がなかなか取れ  
ないので、この機会に職場  
での話や情報交換ができた  
ことをうれしく思っていま  
す。また、組合の方や他施  
設の方との交流の場も設け  
ていただいて、とても有意  
義な研修会だったと思いま  
す。

## 歓迎・プチ南国へ

筑前山田赤十字病院 河嶋 哲博

六ブロック九州地区は暖  
かいイメージがあるようで  
すが、雪も降ります(鹿児島  
島でも)し、スキー場(富  
崎にも)もあります。さら  
に加盟四単組は福岡、佐賀  
の比較的北部に位置してい  
るため、南国とはいきさか  
離れた四季を味わっていま  
す。しかし、プチ南国の環  
境のせいでしょうか、食べ  
物が非常に美味しく、玄界  
灘はこの時期「ぶぐ」(当  
地言葉で「ぶぐ」)を提供  
してくれます。さらに福岡

には、そのぶぐの鍋(つ  
ちり)の旨いといわれてい  
る「アラ」の鍋があります。  
脂ののっているわりにはあ  
さり優しい味で、天然物は  
高級品扱いです。

そんな九州には、独自の  
酒文化「焼酎」があります。  
割って良し、生(き)でも  
し、地方により違う穀物を  
蒸留してつくるため、千差  
万別の酒が存在します。個  
性が前面に出ていて、ある  
意味灰汁が強いです。灰汁  
の強さは当単組のようでも  
なりのです。

九州を訪問された際は、  
連絡を下されば酔っぱらい  
なる飛躍を目指して共に頑  
張って行きましょう。

今年度に入り、組織部及  
び教宣部では新たな活動と  
して、日赤新労のホームページ  
を開設しましたが、組  
合員の皆様にはご覧いただ  
いているでしょうか。

昨年二月にインターネット  
ト上にデビューして以来、  
常に組合活動に関する最新  
きたいと思えます。併せて

皆様からのご意見、お問  
合わせ、ご相談等もお待ち  
しております。

また、今年度は組合労働  
歌のCDも作成しました。  
歌のCDも作成しました。  
歌の中村友子さん(写真)  
にご協力をいただき、労  
働歌のレコーディングを行  
い、「日赤新労労働歌」と  
「頑張ろう」の二枚のCD  
を各単組にそれぞれ二枚ず  
つ寄贈しました。組織の活  
性化と更なる団結を深める  
ために、是非ともお役立て  
いただきたいと思います。

## ●特別昇給の実施について●

日本赤十字社では、職務に精励する職  
員に対する処遇の充実と、職員の士気高  
揚を図る等の観点から、特別昇給の実施  
促進を図ることとしています。  
実施要領は以下のとおりです。

1. 「勤務成績優秀」による特別昇給
    - (1) 勤務成績優秀による特別昇給の実施  
枠は、一の年度において当該支部・施  
設の現員数(社長任命職員を除く)に  
100分の10を乗じて得た数に相当する  
数(その数が1に満たないときは、1)  
を超えない範囲内とすること。
    - (2) 特別昇給は特定の個人を対象として  
行うことを原則としているものであ  
って、全職員又は特定の職種の職員を一  
括して一斉にこれを行うことは認めら  
れないこと。  
したがって、勤務成績優秀による特  
別昇給を実施しようとする場合は、職  
員の勤務評定に関する要綱等を定め、  
その要綱等に基づき公平かつ統一的方  
針のもとに評価された職員を対象とす  
ること。  
なお、財源上の理由により一挙に特  
別昇給を促進していくことが困難な場  
合でも、実施枠を計画的に拡大する、  
あるいは昇給短縮期間を見直す等の工  
夫を図りながら進めること。
  2. 「職員間の給与の均衡上の必要性」  
による特別昇給  
職員間の給与の均衡上の必要性によ  
る特別昇給の実施枠は、一の年度にお  
いて当該支部・施設の現員数(社長任  
命職員を除く)に100分の5を乗じて得  
た数に相当する数(その数が1に満た  
ないときは、1)を超えない範囲内と  
すること。
  3. 「業務成績の向上、研修等」による  
特別昇給  
前記1、2によるもののほか次の事  
由による特別昇給を行うことができる  
ものとし、その場合は本社と事前に協  
議のうえ手続きをとり進めること。
    - (1) 赤十字組織の基盤の充実強化、国際  
救護・災害救護等への積極的な参加、  
経営の改善、発案考案等により職務  
上特に功績があり、社業の振興に貢  
献した場合。
    - (2) 社長の指定した職員研修に参加し成  
績優秀と認められた場合。
    - (3) 施設の廃止又は過員を生じた結果退  
職する場合。
    - (4) その他社長が特に必要と認めた場  
合。
- 以上、特別昇給の実施にあたっては、  
本社工書に記載されている留意事項に注  
意すること。

- ウ. 育児休業中の職員
- エ. 休職期間中の職員
- オ. 懲戒処分を受けてから1年を経過  
しない職員
- カ. 特別昇給後1年を経過しない職員

今年度に入り、組織部及  
び教宣部では新たな活動と  
して、日赤新労のホームペ  
ージを開設しましたが、組  
合員の皆様にはご覧いただ  
いているでしょうか。

昨年二月にインターネット  
ト上にデビューして以来、  
常に組合活動に関する最新  
きたいと思えます。併せて

皆様からのご意見、お問  
合わせ、ご相談等もお待ち  
しております。

また、今年度は組合労働  
歌のCDも作成しました。  
歌のCDも作成しました。  
歌の中村友子さん(写真)  
にご協力をいただき、労  
働歌のレコーディングを行  
い、「日赤新労労働歌」と  
「頑張ろう」の二枚のCD  
を各単組にそれぞれ二枚ず  
つ寄贈しました。組織の活  
性化と更なる団結を深める  
ために、是非ともお役立て  
いただきたいと思います。

研修活動としては、本部  
主催以外の単組単独の学習  
会にも、数多く参加させて  
いただきました。今後も、  
単組及びブロックと連携し  
て組織の活性化を図って行  
きたいと思っております。皆  
様のご支援・ご協力をよろ  
しく願っています。

